



南郷城



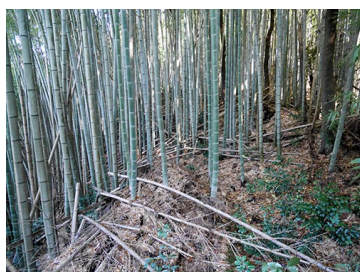
櫓台に転用したと推定される古墳墳丘（三角点33.43m）

所在地：石川県加賀市南郷町
 立地：丘陵頂部、標高41m
 城主：越前朝倉氏、黒瀬掃部允（一向一揆）
 時期：戦国
 見学時間（参考）：八幡神社丘陵のみ 約30分
 城域2丘陵 約2時間

南郷の八幡神社が鎮座する丘陵を本城として、東隣の丘陵と2丘陵が城域と考えられる。本城北東部の最高所が主郭で、南半分に2基の古墳がある。東丘陵のほうが大きく、現在墓地や畑（放棄地）になっている。ともに近世以降の開発で城郭遺構ははっきりしない。



登城口の南郷八幡神社



主郭に続く尾根竹が繁茂して近づけない

初め越前朝倉氏が一向一揆に対抗する前線拠点として築いたといわれ、弘治元年（1555）朝倉宗滴が加賀に進攻したときには、一揆方の黒瀬掃部允が近郷3千人と籠ったが宗滴の猛攻に山中に敗走したという。慶長5年（1600）関ヶ原合戦を前に東軍に味方した金沢城主前田利長が西軍の大聖寺城主山口宗永を攻め、宗永の子右京が南郷城付近で利長軍を待ち伏せて戦った。

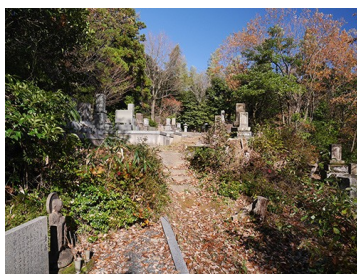
踏査当日、八幡神社社殿の修理をしていた地元の方に南郷城に案内してもらおうと、背後の三角点のある場所に案内された。そこは古墳の墳丘上で一見すると櫓台に見えた。南方の斜面を下ると横長の溝を確認したが古墳の周溝らしい。しかし、少し加工すれば墳丘は櫓台に、周溝は堀切になるため城郭施設に転用したと推定される。主郭には竹藪が深くたどり着けなかった。



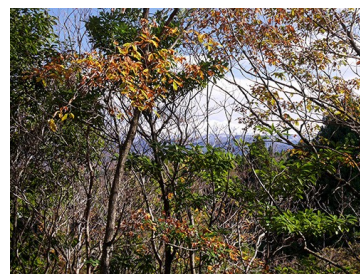
堀切に見えるが古墳周溝か？



本城西斜面の豎堀



東丘陵の墓地最高所



東丘陵から見える白山

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
 北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
 〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
 TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
 E-MAIL. contact@j-sampo.com
 ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>